

買い物弱者対策

青木 謙順 議員
(自民みらい/津市選出)



問

過疎化や高齢化が進む中山間地域を中心に、「買い物弱者」問題が深刻化しており、国や他県においても利便性を高めるなどの支援事業が進められています。



移動販売車での買物

この問題は、地域産業の振興や福祉サービスの充実など、さまざまな行政課題につながるため、県の関係部局が連携し横断的に取り組む必要があると考えますが、今後の県の取り組み方について伺います。

答

平成23年度においては、地域住民と事業者が連携した、地域商業を継続させるモデルを構築しようとする市町を支援していききたいと考えます。

また、関係機関が横断的、総合的に取り組む必要がある地域課題については、市町のニーズを踏まえ、「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」で検討し、必要な支援を行っていきます。

○その他の質問事項 ほか

日本一の清流宮川を守るために

中村 進一 議員
(新政みえ/伊勢市選出)



問

宮川流域ルネッサンス事業により、宮川の清流を守る活動が数多く展開され、宮川流域案内人をはじめ、県内外で多くの人材を育ててきました。

このような素晴らしい事業でありながら、事業の第三次実施計画は今年度末で終了し、県は多様な主体の一員として宮川流域ルネッサンス協議会に参画するとされています。流域課題に対する県の主体的な役割は大きいと考えますが、いかがですか。

答

宮川流域ルネッサンス協議会では、事業の理念を引き継ぐ新たな事業方針の策定を進めており、来年度以降の取り組みは、地域主体の取り組みへと移行していくこととしていきます。

今後も地域と協働した取り組みを推進するとともに、流域の活性化に向け、広域的な観点から県の役割を果たしていきます。



宮川プロジェクト活動報告会

○知事の二期八年の総括と今後の三重県に対する思い ほか

三重県観光振興条例(仮称)

中川 正美 議員
(自民みらい/伊勢市選出)



問

観光客の誘致競争が激化する中、式年遷宮による観光客の増加を契機として、将来につながる観光振興を実現するため、本県の特性を生かした観光施策を打ち出す必要があります。

現在、検討を進めている「観光振興条例」の策定状況と、観光資源の活用なども含め、三重県らしさや特徴をどのように条例に反映しようと考えているのか、お聞かせください。



おはらい町(伊勢市)

答

先人から受け継いだ自然、歴史、伝統、文化などの「本物」が持つ魅力を観光資源として活用していくことが本県の特徴です。

こうした特徴を条例の理念や施策の方針に生かすとともに、条例に基づき今後策定する基本計画に反映し、施策として着実に展開していきたいと考えます。

○絆社会を支える地域や市町との連携 ほか

文化の香り高い地域づくり

辻 三千宣 議員
(新政みえ/伊勢市選出)



問

県内各地には、文化的遺産や史跡など、有形・無形の文化資源が数多く存在しており、こうした資源を生かし、文化の香り高い地域づくりを進めることは、非常に大切であると考えます。

県が文化資源を積極的に取り上げ、県民の理解を深めることで、地域への思いや誇りも高まるのではないですか。

答

文化のもつ力「文化力」を高め、生かしていくという思いを実現するため、「美しい国おこし・三重」や新県立博物館の整備などに取り組んでいます。

今後も県民が地域の歴史や文化を大切に、地域に対する愛着や誇りが持てるような環境づくりに取り組んでいくことが重要と考えます。



資日館(伊勢市)

○伊勢地域における海岸堤防工事の進捗状況 ほか